

報 告

協定校における金沢大学短期留学プログラム （KUSEP）で取得した単位の認定調査結果

ビットマン ハイコ・岡沢 孝雄

はじめに

金沢大学短期留学プログラム（KUSEP：Kanazawa University Short Term Exchange Program）は、金沢大学と協定を結んでいる大学の学生を対象とした1年間ないしは半年の留学プログラムである。平成10年の10月に、第1期生24名の留学生を迎え入れてから、平成19年10月の第10期生までの10年間で計298名の留学生を受け入れた（表-1）。当初、ほとんど全員の留学生が奨学金を受けられたが、徐々に奨学金の数が年々減り、平成18年度は、11名に奨学金が支給されたのみであった。奨学金の件数が減る一方、幸いにも参加者は増える傾向にある。平成18年度（2006年10月から）は、KUSEP生として、これまで最高の人数（35名）を受け入れたが、そのうちの24名、3分の2は私費留学生である。ほとんどのKUSEP生は学生交流協定に基づいて受け入れられるため、金沢大学生の授業料は免除されている。留学生はほぼ全員が金沢大学角間キャンパス内にある留学生用の寮（国際交流会館）に住み、角間キャンパスで学んでいる。

KUSEPは必修科目の日本語、日本に関係することを学ぶ選択必修科目、専門を学ぶ選択科目、自主研究（希望する者のみ対象）および日本人学生に開講されている一般開講科目（日本語能力が高いレベルの希望者対象）より構成されている。この留学プログラムは、日本語科目以外の講義が英語でなされているものの、日本語は必修科目であるという特徴を持っている。

以前からKUSEPで取得した単位がいくつかの協定校で認定されているという情報はもたらされていたものの、詳しい事情は把握できなかった。KUSEPが始まった当初は、単位認定が行う大学が少なかったが、最近になり単位認定が増えてきている傾向にある。しかし実際には、出身大学における単位認定について知らない留学生も多くいる。留学生の立場からすると、KUSEPで取得した単位を出身校で単位交換できるのか、あるいはどの程度まで単位交換が可能であるかは学習意欲の観点からも重要な問題である。

KUSEPをよりよいプログラムにするために、その一環として参加する学生の出身大学などの機関は、KUSEPで取得した単位をどのように扱っているかを調べる必要性があると考え、アンケート調査を試みた。

このアンケート調査の結果を踏まえて、協定校での実情を把握し、本学側からもKUSEPで取得した単位交換について、学生に指導・助言できる立場を整えることに意味がある。また、協定校における単位交換が部分的にもできない場合、その理由が著しく曖昧であるならば、改善を求めるために、単位交換認定推進のための資料としても役に立つと考える。

I. 方 法

平成17年度の終わりに、KUSEP参加学生の協定校側担当者に対し「金沢大学短期留学プログラム（KUSEP）で取得した単位の認定調査」をメールで送り、回答するように依頼した。対象協定校は、平成14年度以降にKUSEPに参加実績がある協定校、計26校であり、そのうち回答を得たのは、10校のみであった。さらに、平成18年11月に回答のない協定校に再度依頼を行う等、計28校を調査対象とした¹。協定校の国別は14ヶ国、地域別にみると、アジア、ヨーロッパ、北米とオーストラリアであった。最終的に回答を得られた協定校は平成17年度・18年度の調査において、計23校（回答率82.14%）であった（表-2を参照）。

アンケート調査の質問項目は次の通りである。第一部で、協定校の名称やその場所、そして担当者の氏名の回答。第二部では、協定校において、KUSEPで取得した単位の1) 認定程度：「すべてを認定」、「部分的に認定」、「認定しない」。さらに、2) 「認定しない」と回答する協定校に対して、「認定しない場合、その理由」及び「認定できるための条件」について質問した。分析は二部の5項目を対象に行った。なお、アンケー

¹ 認定調査対象大学（協定校）：

- 1) アジア：蘇州、四川、北京工業、北京師範、東亜、釜山国立、湖西、国立釜慶大学（二回目追加）、プネー、チュラロンコン、モンクット王工科大学、国立台湾師範（計：12校／5ヶ国）
- 2) ヨーロッパ：ユバスキュラ、ヘルシンキ工科大学、ジーゲン、レーゲンスブルク、ダブリンシティ、カザン、スロバキア工科大学、シェフィールド、リバプールジョンモアズ、ナンシー第2、ナンシー第1（二回目追加）（計：11校／7ヶ国）
- 3) 北米：ウィリアム&メアリー、タフツ、バッファロー、ニューポルツ（計：4校）
- 4) オーストラリア：オーストラリア国立（計：1校）。本来は、南オーストラリア大学への調査にも行うつもりであったが、協定の延長がペンディングだったため見送らざるを得なかった。

トの質問と結果は論文末の付録に示した。

II. 結 果

「金沢大学短期留学プログラム（KUSEP）で取得した単位の認定調査」の回答を表－2に示した。

1. すべてのKUSEP 単位を認定する協定校

回答を得られた協定校の中で、KUSEP 単位を「すべてを認定」すると答えた協定校は14校で、その割合は半数を超えている。アジア地域が最も高い割合であり、9校のうち7校がKUSEP 単位をすべて認定している。アメリカ地域では、3校のうち2校、ヨーロッパ地域では10校のうち5校である。（表－2）

2. KUSEP 単位を部分的に認定する協定校

回答を得られた協定校の中で、「部分的に認定」と答えた協定校は8校で、全体の約3分の1であった。最も高い割合はヨーロッパ地域に見られる。10校のうち4校であり、アジア地域は2校、アメリカ地域1校、オーストラリア1校である。（表－2）

3. KUSEP 単位を認定しない協定校

この調査において、認定しない協定校はヨーロッパ地域の1校のみに見られた。その協定校においては、KUSEP 以外にも日本のさまざまな大学に学生を送り込んでおり、日本への短期留学は協定校のプログラムの一部分をしめている。したがって、日本の大学での成績評価は直接比較できず、ゆえに、日本留学の成果として、送り先の機関での日本語試験を合格しなければならないという条件を設けている。学生が合格しない場合、次の学年に進むことはできない。その協定校からのKUSEP 単位を認定しない理由及び説明は明確なものであった。（表－2）

終わりに

このアンケート調査の結果から、金沢大学短期留学プログラム（KUSEP）で取得した単位は多くの協定校において、取得単位のすべてを認定、あるいは部分的に認定していることが分かった。したがって、回答を得られなかった協定校を除いて、KUSEP に参加する学生がKUSEP で取得した単位を出身校で単位交換できる、または部分的に

できている。この結果は、KUSEP 担当者にとって単位取得における指導を容易にした。KUSEP 単位を認定しない協定校においても、KUSEP での単位が大切にされ、特に KUSEP の特色でもある必修科目「日本語」は帰国後、出身校での試験に合格しなければならぬことを明らかになった。単位が認められれば、留学に伴う出身校での専攻課程の時間的ロスも減ることにつながる。今後引き続き、単位交換に関する回答のない協定校にも働きかけ、単位認定の実態を把握する。また、KUSEP 参加希望者が年々増える傾向に加えて、アンケート結果から KUSEP 全体が協定校において評価されていることが確認できた。KUSEP プログラムは、単に日本の生活、現状、文化などを知るだけでなく、それぞれの学生の専門的知識にも実質的に役に立っているため、なお一層の単位交換の推進が学生の学習意欲を高めるためにも必要である。

【資料：調査アンケート】

Survey for International Partner Universities / Institutions

I. Individual Information

- 1) Name of your university or institution and its location
- 2) Your name

II. Credit Exchange

Does your university recognize the credits from Kanazawa University? (Check one)

- a) All of the credits will be recognized.
- b) Some of the credits will be recognized.
- c) None will be recognized.

If you have checked c), can you please explain the reasons for not recognizing credits from Kanazawa University.

If you have checked c), do you have any suggestions how credits from Kanazawa University could be recognized at your university (institution).

表-1 交流協定に基づく学生受入実績

	年度 (平成)	プログラム A (KUSEP) 受入数										奨学金受給者数																	
		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計						
大学間協定校	1 蘇州大学	1	2	1	1			2	1	1	1	1	1	1	11	1	2	1	1			1	1	1	1	0	1	9	
	2 北京師範大学						1	1			1	3						1	1			1	3	3					
	3 北京工業大学				1			1	1	1	1	5						1	0	0	0	2							
	4 大連大学											0	5						1	0	0	0							
	5 東亜大学校		1	1	1	1	1		1	1	1	8		1	1	1	1	1	1	0	0	6							
	6 釜山国立大学校				2	2	1	1		2	2	10				1	1	1	1		1	6							
	7 チュロンコン大学			2	1	1	1	1	1		1	8			2	1	1	1	1	1		7							
	8 モンクトウ王工科大学 トンブリ校	2	2	2	1	1	1	1	2	2	2	16	2	2	2	1	1	1	1	1	0	0	11						
	9 ブネー大学					1	1	1			1	4					1	1	1			4							
	10 国立台湾師範大学									1	1										1	1							
	11 オーストラリア国立大学	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	11	1	1	2	1	1	1	1	1	1	0	10						
	12 ロイヤル・メルボルン工科大学				1							1				1						1							
	13 カレル大学										1	1											1	1					
	14 ユバスキュラ大学		2	2	1	1	2	2	2	1	1	14		2	2	1	1	1	1	1	1	1	11						
	15 ヘルシンキ工科大学							1	2	1	1	5						0	0	0	0	0							
	16 ナンシー第1大学		1		1			1				3		1		1		0				2							
	17 ナンシー第2大学					1		2	1	2	2	8					1	0	0	0	1	3							
	18 ジーゲン大学	2	1	2		2	1	1	3	1	1	14	2	1	2		1	1	1	0	0	8							
	19 レーゲンスブルグ大学			1	2	1	1	1	2	2	1	11			1	1	1	1	1	1	1	8							
	20 ダブリンシティ大学	2	2	1	1	1	1	2	1	1		12	2	1	1	1	1	1	1	1	1	10							
	21 ルブリン工科大学	2			1	1						4	2			1	1					4							
	22 スロバキア工科大学				1	1	1	1	1	1		5				1	1	1	1	0		4							
	23 リバプール・ジョン・モアズ大学	4	1	1	1		1	1	2	2	2	15	4	1	1	1		1	0	1	1	11							
	24 シェフィールド大学		2						2	1	1	6		1					0	1	1	3							
	25 国立カザン大学		1	1	1			1				4		1	1	1		1				4							
	26 ニューヨーク州立大学バッファロー校	1		1	1	1	3			2		9	1		1	1	1	2			7								
	27 ウィリアム・アンド・メアリー大学	2	1	1	2			2	1	2	1	12	2	1	1	2		1	1	0	1	9							
	28 タフツ大学	5	4	4	4	5	2	6	3	6	6	45	3	2	3	1	2	1	1	2	1	17							
	29 ニューヨーク州立大学ニューボルト校	1	2	3	1	2	2	1	2	1		15	1	2	2	1	1	1	1	2	0	11							
部局間協定校	30 バンドン工科大学理学部	1	1			1					3	1	1			1					3								
	31 国立釜慶大学校自然科学大学								2		1	3							1		1					0	1		
	32 湖西大学校工科大学		2	2	2	2	2	2	2	2	2	18		2	2	1	2	2	2	0	0	0	11						
	33 チェンマイ大学理学部		1	1	1	1					1	6		1	1	1	1				1	6							
	34 台湾政治大学法学院									1		1									0	0							
	35 南オーストラリア大学情報工学環境工学学部			2	1	1	1					5			2	1	1	1				5							
	36 オックスフォード大学ペンブロックカレッジ		1									1		1								1							
合計		24	28	30	30	28	25	32	34	35	32	298	22	24	28	24	22	20	20	16	11	13	200						

協定校における金沢大学短期留学プログラム (KUSEP) で取得した単位の認定調査結果 (ヒットマン・ハコ・関)

表-2: 協定校における金沢大学短期留学プログラム (KUSEP) で取得した単位の認定調査結果 (H17・18年度)

	大学名	国名	単位認定				
			すべてを認定	部分的に認定	認定しない	認定しない場合、その理由	認定できるための条件
1	Beijing Normal University	中国	○				
2	Sichuan University	中国	○				
3	Soochow University	中国		○		「部分的に認定」に関するコメント: 学部によって全部の単位を認める場合もある。	
4	Beijing University of Technology	中国	○				
5	Hoseo University	韓国	○				
6	Dong-A University	韓国	○				
7	Pukyong National University	韓国	○				
8	Chulalongkorn University	タイ		○			
9	King Mongkut's University of Technology Thonburi	タイ	○				
10	University of Jyväskylä	フィンランド	○				
11	Helsinki University of Technology	フィンランド	○				
12	University of Sheffield	イギリス			○	"Students are not given credit for their year abroad as they are sent to many different universities in Japan and it would be difficult to make comparisons. The requirement is that they pass all Japanese language exams set by the host university and that they complete a project set by us, the home university. In order to progress to their final year at Sheffield they must pass the year abroad, but no credits go towards their final degree mark."	For our degree programme this would not be possible.
13	Liverpool John Moores University	イギリス	○				
14	Université Nancy 2	フランス	○				
15	Dublin City University	アイルランド	○				
16	Universität Regensburg	ドイツ		○			
17	Universität Siegen	ドイツ		○		"「部分的に認定」に関するコメント: Only those credits relevant for their study programs here can be recognized. So, it is always a decision on an individual basis depending on their area of studies here, but, in principle, recognition is not a problem. As mentioned above, the university is open to accept anything that fits in the students' study plan. Students have never met any problems in this."	"「部分的に認定」に関するコメント: As mentioned above, the university is open to accept anything that fits in the students' study plan. Students have never met any problems in this."
18	Slovak University of Technology	スロバキア		○			
19	Kazan State University	ロシア		○			
20	The Australian National University	オーストラリア		○			
21	The College of William and Mary	アメリカ		○		"「部分的に認定」に関するコメント: In general, all credits from Kanazawa are recognized by W&M, but there is no blanket guarantee of this; each course must be individually approved for transfer credit by the teaching faculty, which is why I cannot affirm that all credits will be recognized."	
22	State University of New York at Buffalo	アメリカ	○				
23	Tufts University	アメリカ	○				